

## 資料① 2021.2 三鷹の小中学校でのタブレットを使った教育活動の実態

(都教組北多摩東支部が実施したアンケートへの三鷹の小中学校からの回答より)

2021年1月に全員に配布して、カバンに入れて毎日持ち帰らせ使用開始

### 1. タブレットをどんな教育活動に使っていますか。

授業外	授業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○欠席連絡 ○欠席者への連絡</li> <li>○クラスルームで保護者会の出席確認</li> <li>○学年・クラスへの連絡</li> <li>○生徒たちの健康の記録(毎日対応)</li> <li>○各家庭で検温や体調を打ち込み、担任のタブレットで確認する</li> <li>○校支援の学習帳を使った体温チェックと健康状態確認</li> <li>○帰りの会で、児童各自がその日に誰と話をしたか打ち込み、担任がタブレットで確認する。</li> <li>○友達との会話についてのチェックが3月からスタートしました。</li> <li>○アンケート機能で調査、クラスルールで連絡、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライドショーを使って成長したことをまとめたりclassroomで質問を出し答えを見あったりしています。</li> <li>●調べ学習、図工では、作品アイデアを検索するなどに用いている。展覧会の自分の作品を写真でとり自宅で見これなかった保護者に見せて説明。</li> <li>●楽器として演奏</li> <li>●カメラ機能で記録や発表</li> <li>●教科書を忘れた時に撮影して使用</li> <li>●授業では、検索・作文などの提出物管理・意見交換など。</li> <li>●精一杯活用方法を見出している。授業ではネットワークを生かした活用をしたいが、今はできないためアプリケーションの利用にとどまっている(Googleドキュメント・スライドなど)。頻繁に使用できている教科は技術、理科にとどまり、他の教科ではコロナ禍で教科書の範囲を終えられるかといった中、活用する余裕などない。</li> <li>●教科によるが課題提出</li> </ul>

### 2. 校内 Wi-Fi 環境やタブレット使用の教育活動について気が付いたこと 小学校

**利点** ・画像の共有ができることなどで、今知りたいことをすぐ知ることができる。

**疑問・困っていること・要望など**

- ◇日によっても、時間帯によっても、授業中ネット検索すると繋がりにくい時がある。
- ◇多数で使用すると フリーズしてしまい 時間の浪費になっている。授業及び校務に支障が出る。
- ◇タブレットをスクリーンにうつすケーブルがないと、みんなと共有できない。時間ばかりかかる。
- ◆タブレット活用を迫られ、自己研修として職員室で勉強しあわねばならず勤務時間超過となっている。
- ◆校長より、とにかくタブレットを使うように言われ、授業観察の時には、タブレットを使った授業をするようにと指示された。タブレットありきの実践を求められる雰囲気がある。
- ◆タブレットで、子どもも先生も目の疲れがたま一方です。
- ◆十分な説明がなく実施され、誰と話したかのチェックの必要性が分からず、児童への影響が心配。
- ◆タブレット対応費の私費負担の教材費(4000円)を減らすように指示されドリルを中心に相談中。

- ◆ルールやマナーについても課題が多いと感じる。休み時間も毎日ずっとタブレットでいいのか？
- ◆管理職は、授業の中でタブレットを効率的に使うために学年で事前に打ち合わせ、共通理解を図ること、タブレットに「使われないよう」に気をつけることが重要と話している。

## 中学校

### 利点

- ・授業中わからないことを、すぐ調べることができること。
- ・欠席者への連絡が楽になった。Googleclassroom での連絡は便利。
- ・情報・意見が共有しやすいこと。
- ・声を出して意見が言えない生徒・作文が書けない生徒もタブレットを使って作文を書いたり、意見を発表したりできることがある。

### 疑問・困っていること・要望など

- ・(中学校では使用頻度が高いので校内 Wi-Fi 環境の問題の意見は小学校以上に多数寄せられました)
- ・クラスルームというソフトでは、勝手に自分の個人的なアカウントを利用して、クラスルームに入り、裏クラスルームを作成して、特定の仲間達で、先生からわからないように、友達たちをいじるなどしていたという事件がありました。いわゆるイジメです。ルール違反が見つけない。
- ・勝手に自分でゲーム等をダウンロードして、休み時間等にやっているということもあります。まだ配布して日がたっていないにも関わらず、この状況なので生活指導面ではとても心配です。ルール作りもままならないうちに配布され、現場は混乱状態。
- ・タブレットの説明会があっても初心者には不十分。
- ・分からないことが多いからこそ、導入された学校でどんどん使って、予想されるトラブルとして蓄積していくべきだと思う
- ・タブレットの使い方をめぐる生活指導が多発。人の写真を撮ったり、授業中に指示された以外のことに使っていた……など。
- ・教員への研修がほとんどなく、現場へ丸投げ。Wi-Fi 環境が整わない中でスタートしたのが問題と思う。
- ・Google フォームでアンケートを集計したり授業ですぐに生徒の意見を集約してグラフにしたりなどの活用はできるが、小テスト形式にした際にどの生徒がどのアドレスなのか対応させる時間がなく、成績処理まで繋げられない。
- ・Googlemeet の問題が深刻。リモートの仕組を学校教育で構築するのに meet は不向きで、zoom のように生徒の顔を均等配置できないし、教員側にホスト権限がない。画面の共有に難あり、ICT 支援員と協力して解決策を探ってきたが、ICT 支援員もお手上げの状態です。
- ・環境が安定せず、すぐに使えないこと。生徒が見てはいけないものを見ている時がある。
- ・Google の G suite for education で、これまでは Google ドライブの容量が無制限でしたが、Google 社の発表により、契約内容が変わるようです。三鷹市で 100TB ということで、教員・生徒共も、1 台あたり 7GB という制限がかかってくるそうです
- ・タブレットの導入で私費教材負担分が年間 4000 円程度増えるので、その分私費徴収を減らすようにとの指示があった。e ライブラリアドバンスの使用によってワークなどの市費負担分を減らすようにと言われたが、特別支援学級では、代用できる 4000 円分の私費徴収を削減することが困難です。